

障害を理由とする差別等の事例調査結果(概要)

目的

文京区が障害を理由とする差別の解消を推進していくための元となる資料として、障害のある人が何を差別と感じ、どのように配慮してほしいと思っているかを具体的に示していくため。

方法

- (1) 個別回答によるもの(7/16~10/31)
 - ① 調査票の個別郵送
(調査票を7月中旬に身体障害者手帳及び愛の手帳所持者に「障害者福祉のてびき」に同封。約5,200名)
 - ② 区ホームページでの募集
 - ③ 当事者団体及び区内障害福祉サービス事業所による意見のとりまとめ
- (2) 知的障害・精神障害(一部身体)の通所事業所利用者グループヒアリング(10/13~11/24)
(障害者基幹相談支援センター及び東洋大学と連携。10施設)
- (3) 庁内アンケート調査(10/30~11/16)

結果概要(平成27年11月27日現在)

- (1) 個別回答→郵送、FAX、窓口(対面での聴き取り)、メール
 - 総件数 266件(うちホームページ9件)
 - 有効回答 164件(障害のみの記載や単純な行政へのお礼等を除く)
 - 事例数 191件

【障害別】

視覚	聴覚	音声	肢体	内部	知的	精神	発達	難病	その他
40	15	9	50	24	30	7	7	7	6

※任意記載、重複もあるため合計は一致しない。

【内容別】

行政	制度	福祉サービス	医療	教育	子育て	就労	情報	生活	交通機関	建物・道路	その他
26	4	4	10	12	1	13	4	33	37	12	35

- (2) 通所施設利用者グループヒアリング

50件

- (3) 庁内アンケート調査

回答数139件

【問別回答数】

	問1 (相談・苦情の有無及び対応)	問2 (対応に困ったこと)	問3 (配慮していること/ソフト面)	問4 (配慮していること/ハード面)	問5 (全庁的対応を希望すること)	問7 (自由意見)
ある	34	70	106	85	93	45
ない	99	69	33	54	46	94
わからない	6					